



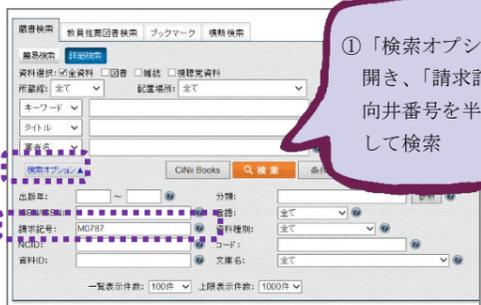
# ☆知って得するステキな情報☆ 向井信夫文庫目録と OPAC

## ■実は OPAC の情報の方が詳しい！

向井信夫文庫（以下、向井文庫）のコレクションを通覧するのに『向井信夫文庫目録』（以下、冊子体目録）は便利ですが、頁数が膨大になってしまったため OPAC にある情報が全て入れられませんでした。

## ①「向井番号」で検索してみよう！

向井文庫（江戸期和本）の請求記号は、NDC（日本十進分類法）ではなく、「M」から始まる「向井番号」と呼ばれる番号が付けられています（小数点以下は巻号）。これは、旧蔵者である向井信夫氏が、実際に資料を書架に並べていた順番を元に付けたものです（おおむねジャンルや作者ごとにまとまっています）。冊子体目録で気になる資料を見つけたら、この向井番号を使って詳細な書誌を見てください。



①「検索オプション」を開き、「請求記号」に向井番号を半角で入力して検索

## ■向井信夫文庫とは

\*詳しくは図書館 HP「コレクション紹介」のページにあります。

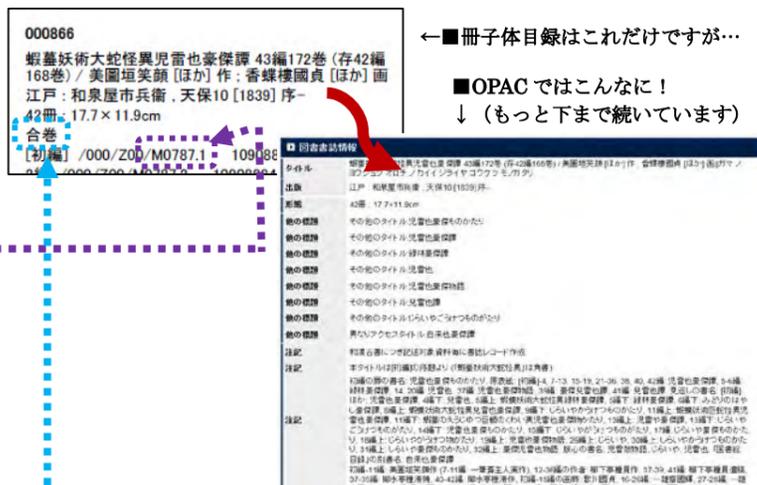
在野の和本収集家である向井信夫氏（1916- 1993）のコレクション。質量ともに国内有数の戯作（江戸後期小説）を中心とした「江戸期和本」編と、それに関する一般書の「図書」編から構成されています。自身のコレクションが広く学術に役立つようにという向井氏の遺志を受け、2009 年に本学に移譲されました。

## お手本のお手本

葛飾北斎の代表作の一つである『北斎漫画』（全 15 編）は、人物、花鳥風月、器物、妖怪などありとあらゆる絵の題材をスケッチした絵手本として高い評価を得ています。専修大学図書館にも明治 11 年(1878)刊行の『北斎漫画』が収蔵されています。

実は今回ご紹介する貴重書はこの絵手本の更にお手本になったと思われる版本(木版の本)で『芥子園畫傳』という中国の画譜です。専修大学図書館には嘉慶(中国の年号)5 年(1800)に刊行された二集 8 巻がありますが、一般的には『芥子園畫傳』(初集全 5 巻・1679 年の序文・わが国では寛永 2 年(1749)の翻刻本がある)などが著名で、国内に広く普及して江戸初中期の画界に大きな影響を及ぼ

——平成 29 年 3 月、『向井信夫文庫目録』を刊行しました（本学リポジトリ[SI-Box]でも公開）。この目録と OPAC を使いこなすための豆知識をご紹介します。



←■冊子体目録はこれだけですが…

■OPAC ではこんなに！  
↓（もっと下まで続いています）

## ②分類で検索してみよう！

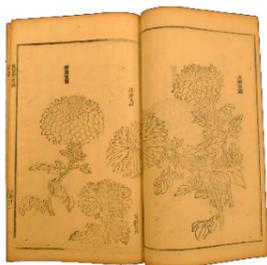
向井文庫（江戸期和本）は、「分類」（ジャンル）で検索できるようにしています。検索できる分類一覧は、冊子体目録「Ⅱ. 江戸期和本編(索引)」の「江戸期和本 分類索引」の扉頁に掲載されています。向井文庫の特色が分かるだけでなく、それぞれ書名が異なる「吉原細見」をまとめて検索するのにも便利です。



②「検索オプション」を開き、「コード」に分類一覧に記載されている分類を入力して検索

しました。こうした中国の画譜は不特定多数を対象とした習画法などに絵手本として用いられたようです。

他方『北斎漫画』を含め絵手本は通常、特定の画派が師から子あるいは弟子に伝える習画に用いられたので、手本をもとに臨写を行うことが一般的な習画法でした。『芥子園畫傳』の収載図（二集蘭譜・竹譜・梅譜・菊譜）と『北斎漫画』を比較すると共通性を発見することができるのは興味深いところです。（参考文献：北斎漫画 東京：東京美術，2002.12-2003.2）



# 貴重書ってなあに？

## ◆そもそも貴重書とは？

…資料的に価値が高く、非常に高額であったり、希少性が高かったりする図書で、図書館において、一般資料とは別別して扱われる。多くは希書であり、保管に際して一般資料とは別置し、何らかの利用制限を設けることが多いが、貴重書の基準は図書館により異なる。（『図書館情報学用語辞典』第 4 版より一部抜粋）

## ◆専修大学図書館の貴重書の基準

「一般資料と区別して管理・利用に供する、印刷または記録された資料」という点では変わりませんが、和書と洋書で基準の年代が異なります。  
【和書】1900 年まで  
【洋書】1870 年まで

ちなみに、特殊な文庫を除き、請求記号の頭に「A」が付きまます。  
例) A/721/Ka88 ←何の貴重書でしょう？

## ◆貴重書を利用する方法するには？

複製物がある場合はそちらを利用してください。それによって目的が達成されない場合のみ、現物の利用が可能です。また、写真撮影は原則禁止となります。

【学内者の方】利用したい資料が特別書庫にあることを OPAC 等で確認してから、レファレンスカウンターにお越しください。「貴重書利用願」をお渡ししますので、必要事項を記入して提出してください。申請は、利用希望日の 10 日前までに行ってください。

【学外者の方】所属先の図書館から紹介状を発行してもらってください（発行には 1 週間～10 日ほどかかります）。利用当日は、それを持参して図書館本館（生田キャンパス 9 号館 3 階）へお越しください。所属先のない方は、お近くの公共図書館を通してお問い合わせください。

【お問い合わせ】lib-serv@acc.senshu-u.ac.jp（利用サービス係）

## 夏にまたきた！ 江戸の妖怪ちよいと集合

8 月 27 日(日)のオープンキャンパスにあわせて、貴重書ミニ展示「夏にまたきた！江戸の妖怪ちよいと集合—向井信夫文庫を中心に—」を開催しました。2016 年度企画展「春にやってきた 江戸の妖怪大集合」のリバイバル版で、特に人気のあった 5 作品を展示し、図書館員による作品解説も行いました。

江戸時代における妖怪絵本の先駆けである『画図百鬼夜行』では、前回の展示での妖怪人気投票第 1 位「猫また」と第 2 位「ぬりひょん」を紹介しました。その他にも『東海道中膝栗毛』でおなじみ十返舎一九作の『化物太平記』や、妖怪が登場する作品の大ヒット作、蝦の妖術使いを主人公にした『児雷也豪傑譚』、『東海道四谷怪談』の元になった事件をモチーフとした『霜夜星』などを展示しました。

『霜夜星』は挿絵を北斎が描いたということで、秋の企画展「北斎と馬琴」でも展示されますので、ぜひご覧ください。

——「ぶんこ」で扱う資料は、主に貴重書と呼ばれる資料です。創刊号では、その「貴重書」そのものについて取り上げます。

## ◆なぜ大学図書館に貴重書が必要なのでしょう？

現在では、大学に図書館を設置することが大学設置基準第 38 条によって定められています。そこでは、図書館は「教育研究に必要な資料」を収集する中心的な機関とされています。古来、宗教や学問などの知識は、書物に記され、様々な場所へ伝達されてきました。人々は、書物で学び、そして研究してきたのです。洋の東西を問わず、学問の場には必ず多くの書物がありました。知の伝達と創造を目的とする大学を維持していくためにも、図書館は書物を守っていく使命があるのです。大学での教育研究は、新しい書物だけでなく古い書物や稀少な書物でも行われます（中には書物の形をしていないものもあります）。大学図書館ではそれらを収集・整理し、「貴重書」として適切な方法で保存しています。時代を超え、海を越え、災害や戦乱をも乗り越えてきた貴重書たちは、学問の発展と、これからの社会を担う人材の教育の役に立つことを、特別書庫で待っているのです。

## ◆特別書庫ってこんな感じ

専大図書館の貴重書は、特別書庫で保存されます。適切な温湿度管理と防虫対策を行い、利用に制限を設けることによって、資料の劣化を防いでいます。和洋合わせて約 2 万 8 千冊収蔵されています。



【特別書庫入口】

## 1 分で豆本作り！

- ①まずニュースレターの豆本になる面を左右で半分に折り。
- ②点線をハサミで切ります。
- ③開いてから切った部分が上になるように折ります。
- ④①の折り目に向かって、両側から折ります。
- ⑤開いてから両端を持って押し込んでいくこんな感じ。
- ⑥ぐぐいっ！と押しすと完成です！